

## 取扱説明書

# SEIWA® WA68

スマートアッシュトレイ

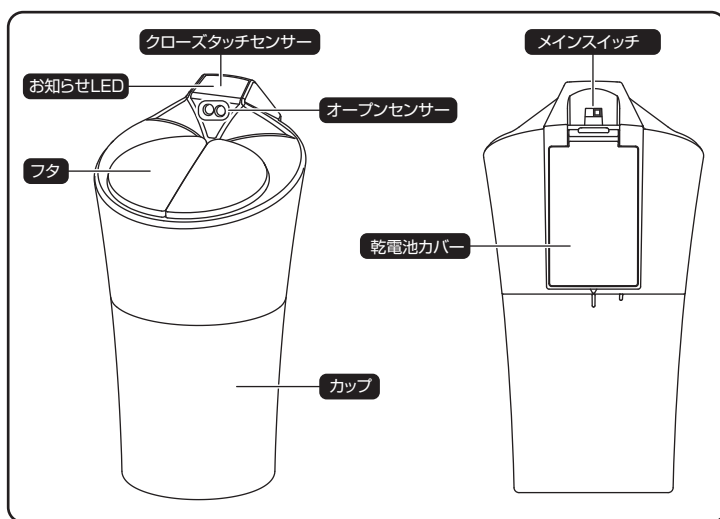
この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。  
※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。  
※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。

### はじめに

必ずお読みください。誤った取り扱いを致しますと火災の原因となります。

- タバコの火は必ず消えたことを確認してください。ご使用後は必ずフタを開けてください。布製のポケット等に入れてのご使用はおやめください。
- 本体の変形やフタのしまりが悪い場合は、ご使用を中止してください。
- 上記を守らずに、吸い殻がくずぶったまま放置すると、本体や周辺の熱変形の原因となります。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造(ご購入後の塗装やデコレーションなどを含む)をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

### 本製品の構成と名称



## 1 安全上の注意

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止 (してはいけないこと) 禁止を示します。
	強制指示 (必ず実行していただくこと) 指示を示します。

### 警告

- 警告** 灰皿をご使用にならないときは必ずフタを閉じてください。  
指示 開放したままですと火災の原因となります。降車の際、お車を離れる前に灰皿内のタバコが消化されているか必ずご確認ください。
- 禁止** 紙など燃えやすい物の近くや、布製ポケット等に入れてのご使用はおやめください。  
火災の原因となります。
- 指示** 定期的に灰皿を点検してください。  
指示 本体の変形やフタやカップの閉まりがわるいなどの異常がある場合は、ご使用をおやめください。
- 禁止** 紙くすなど、吸い殻以外のものを入れないでください。  
火災の原因となります。
- 禁止** 吸い殻は一杯になるまでためないでください。  
火災の原因となります。
- 禁止** 濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。  
指示 本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。
- 禁止** 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。  
指示 破裂、発火、発熱させる原因となります。
- 禁止** 分解、改造、後加工をしないでください。  
指示 火災、感電、故障、けがなどの原因となります。
- 禁止** 走行中の運転者による本体の操作は絶対にやめてください。  
指示 運転者による本製品の操作は事故などの原因となります。
- 禁止** 新しい電池と古い電池や違う種類の電池と一緒に使用しないでください。  
指示 乾電池の液漏れにより火災や周囲の汚損の原因となります。
- 指示** 乾電池の⊕⊖極は正しく入れてください。  
指示 乾電池の液漏れにより火災や周囲の汚損の原因となります。
- 指示** ご使用済みの電池は速やかに交換するか、製品から外してください。  
指示 乾電池の液漏れにより火災や周囲の汚損の原因となります。
- 禁止** 幼児、子供の手の届く場所に放置しないでください。  
指示 誤ってフタに指などを挟まれけがや火傷をする恐れがあります。

### 注意

- 禁止** フタの開閉時に手などを近づけないでください。  
指示 指などを挟まれけがの原因となります。
- 指示** 長期間使用しない時は、乾電池を外して保管してください。  
指示 乾電池からの液漏れで電極がサビ故障の原因となります。
- 禁止** 故意に照明部やフタにタバコの火を近づけないでください。  
指示 熱による変形や性能を損ねるおそれがあります。
- 禁止** クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。  
指示 本製品に傷がつくおそれがあります。汚れた際は乾いた布で拭いてください。
- 指示** 本体を移動させる場合は、カップ部分を持って移動させてください。  
指示 誤ってカップが外れた場合、吸い殻による周囲の汚損の原因となります。
- 禁止** 極端な低温(-20℃以下)での保管、放置はやめてください。  
指示 製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- 禁止** 本体のLED光源を直視しないでください。  
指示 目の健康をそごねるおそれがあります。

### 使用上の注意

- 使用済みの乾電池は、必ず本体から取り外してください。
- 長期間、ご使用にならないときは乾電池を取り外して保管してください。
- 使用環境によっては、オープンセンサーの感度が変化することがあります。
- オープンセンサーの感度調整はできません。
- 防水仕様ではありません。

### 各センサーに関するご注意

#### オープンセンサー

- オープンセンサーは、使用状況・電池残量によって検知範囲が変わります。
- 人体以外にも、物体が移動した場合や、その他にも機器からのノイズ・太陽光・静電気・強い光・ヘッドライトなどが受光部に入るとオープンセンサーが誤検知する場合があります。
- つや消しの黒い布(手袋)など極端に反射率がわるい素材にはオープンセンサーが正常に反応できない場合があります。
- オープンセンサーにゴミ、ホコリ、水、油などが付くと誤検知の原因になる場合があります。

#### クローズタッチセンサー

- クローズセンサーは静電気容量タッチセンサーのためタッチペンや手袋などには反応しません。必ず直接指でタッチしてください。

### 仕様

- 電源：単三形アルカリ乾電池×2本(別売)
- 電池寿命：約4ヶ月(1日10回使用時)※アルカリ乾電池使用時 ※常時 モードの場合
- 電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。
- 外形寸法：H108×W77×D59mm(最大値)

製品に関するお問い合わせは… ☎ 0570 (039) 710

受付時間/AM10:00~PM5:30 月~金曜日(祝日休業)  
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

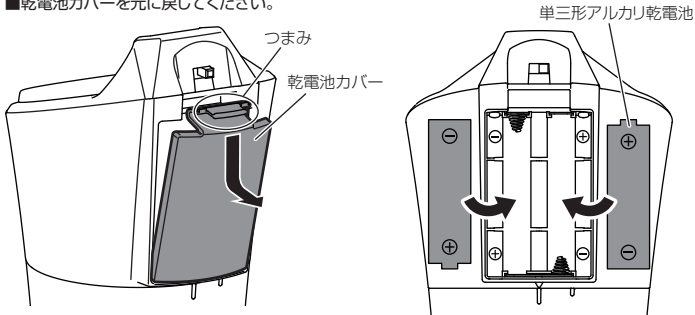
## 2 本体のセッティング

### はじめに

- 本製品の設置が困難な場合、または運転の妨げになる場合は無理にご使用しないでください。脱落などにより事故や故障、破損の原因になります。
- 設置場所が運転操作やシフトレバー、ウインカーレバー、サテライトスイッチなどの操作に支障をきたさない場所か、エアバック作動時に影響がない場所か確認してください。
- 本製品は赤外線非接触センサーを使用しているため、一定距離内に物があると検出対象以外にセンサーが誤検知するおそれがありますので、狭小スペースへのお取り付けや周囲に反射物がある場所でのご使用はしないでください。

### 乾電池の入れ方

- 本製品は単三形アルカリ乾電池を2本使用します。乾電池は全て新しい乾電池をご使用ください。
- 本体背面の乾電池カバーのつまみを下に引き下げながら取り外してください。
- 乾電池の⊕⊖極を間違わないように入れてください。
- 乾電池カバーを元に戻してください。



**警告**

新しい乾電池と古い乾電池や違う種類の電池を一緒に使用しないでください。  
乾電池の液漏れにより火災や周囲の汚損の原因になります。

乾電池の⊕⊖極は正しく入れてください。  
乾電池の液漏れにより火災や周囲の汚損の原因になります。

## 3 ご使用方法

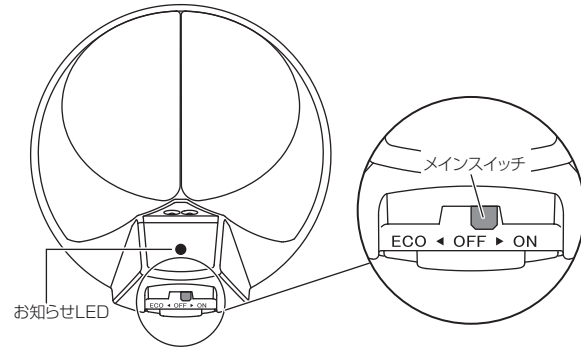
### 電源を入れる

- 電源は本体背面のメインスイッチで切り替えることができます。
- 本製品は「常時モード」「エコモード」の2種類のモードから運転方式を選ぶことができます。
- 電源を入れるとクローズタッチセンサー部のお知らせLEDが「青色」に点灯します。

- OFF ■電源がOFFの状態です。お知らせLEDは消灯。
- ON(常時モード) ■電源がONの状態です。お知らせLEDは「青色」に点灯。

### ECO(エコモード)

- 電源がONの状態、3時間オープンセンサーに反応がない場合は自動でスリープ状態になり、乾電池の消費を軽減させます。
- スリープ時は、オープンセンサーが反応しない状態になっています。スリープ状態を解除するには、クローズタッチセンサーに一度触れるか、メインスイッチを1度OFFすることで解除されます。
- お知らせLEDは通常時は「青色」に点灯していますが、スリープ状態の時は「赤色」に点灯します。
- 乾電池寿命の目安:常時モードで1日に10回使用した場合で約4ヶ月使用可能です。  
※使用状況により異なります。
- 長期間ご使用にならない場合は、電源をOFFにすることで乾電池寿命を延ばすことができます。
- お休みの日にお車を利用しない方は、電池消費を節約できるエコモードがおおすすめです。
- 乾電池の寿命が近づくとお知らせLEDが「赤色」に点滅します。お早めに新しい乾電池に交換してください。  
※お知らせLEDが「赤色」に点滅している時は、センサー検知や動作が不安定になる場合があります。



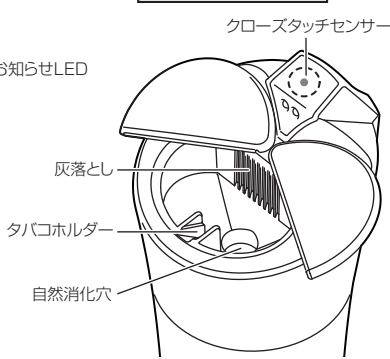
### 使用する

- お車のカップホルダーに設置してください。
- ※周辺に物にオープンセンサーが反応しないか確認してください。
- オープンセンサーが手や物を検知すると、フタが自動で開きます。
- ※周囲環境や電池残量、検出対象の素材や色、大きさにより検知感度や検知距離が変わります。
- フタが開くと、灰受け皿内のLED照明が点灯します。
- タバコを置くときは、先端の火種がフタに接触しないようにして、しっかりとタバコホルダーに固定してください。走行中は落下するおそれがありますので、タバコを置かないでください。
- タバコの火を消すときは、先端の余分な灰を灰落としで落とし、火がついたまま自然消化穴の中へ吸い殻を捨ててください。
- ※タバコのフィルターが潰れて変形していたり、唾液を含んでいると穴を通りにくい場合があります。吸い終わったタバコは自然消化穴の中へしっかり確実に押し込んでください。
- フタを閉める時はクローズタッチセンサーに触れるとフタが自動で閉まります。
- ※フタが開いた状態で30分が経過すると、閉め忘れ防止機能がはたらき自動でフタが閉まるようになります。故障ではありません。

### フタを閉じた状態



### フタを開けた状態

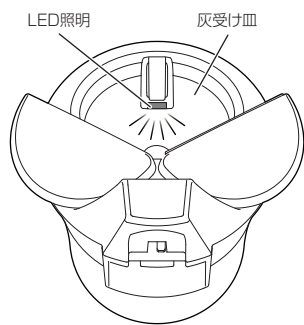


**警告**

灰皿をご使用にならないときは必ずフタを閉じてください。  
開放したままですと火災の原因になります。降車の際、お車を離れる前に灰皿内のタバコが消火されているか必ずご確認ください。

**注意**

故意に照明部やフタにタバコの火を近づけないでください。  
熱による変形や性能を損ねるおそれがあります。



### たまった吸い殻の捨て方

- 灰受け皿の灰をしっかりと自然消化穴から落としてください。
- フタを閉じた状態で、電源をOFFにしてから作業をしてください。
- 本体上部は上から見て時計回りに回すことでLOCK状態となり、反時計回りに回すことでFREE状態となり、カップから取り外すことができます。  
※使用中は必ずLOCK状態にしてください。
- 本体上部を上から見て反時計回りに回し、FREE状態にしてから本体上部を持ち上げてカップから取り外してください。
- カップ内の吸い殻を捨ててください。
- 本体上部を取り付けるときは、本体上部の印とカップの印(短い)を合わせるように本体上部とカップをはめ込み、カップの印(長い)まで回して「カチッ」と音がしたことを確認してください。

